

オオキトンボの里づくりプロジェクト

〒790-0827
愛媛県松山市鉄砲町1-7
電話:089-992-9152
E-mail:info@morimichi.org
http://morimichi.org/



つづける助成

1年目

調査研究



羽化殻調査の様子。ため池は満水状態。

現地調査の回数	88回
2度の観察会とイベントの参加者数	105人
今年度計画の達成度	80%
活動の全体目標に対する達成度	35%

課題

松山市北条地域には希少種・オオキトンボが息する「ため池」が点在するが、住民にほとんど存在が知られていない。一方で、ため池改修工事が進行中で、早急な保全の提言が必要。

目標

本種が息する「ため池」において、池の管理によって生じる環境変化と本種の生活史との関係を解明し、ため池利用者、住民、行政などの協働による保全策の構築を目指す。

活動内容と成果

主要な生息地・M池を中心に、発生消長や産卵行動を調査、生活史の把握が進展した。53か所の「ため池」で発生の有無が確認できたので、環境にかかわる必要条件の解明に取り組む。

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

個体数が多いからこそ実施可能な標識調査を導入、調査内容が多岐にわたる、のべ88回となり、体力的・時間的な負担が増えた。

■ 工夫した点

この事業を松山市北条地域・生物多様性地域連携保全活動計画の実践の柱と位置付けることによって、市の支援を得ることができた。



愛媛大の学生と調査担当者が四万十市トンボ自然公園で実習。受講者は調査やイベントに参画し、人材の育成が進んだ。

地域の保全の機運醸成を目的に、2度観察会を行い、「風早トンボサミット！」を開催し、約60人の参加を得た。観察ツール、里地の生き物下敷き(6面)を作成。

保全計画策定を目指し、ため池管理者や行政の改修担当者と情報交換を重ねた。



地元の小学校に於ける産卵観察会。◎は産卵中のヘア

今後の展望

オオキトンボの生活史・生育環境調査と、ため池管理者からの聞き取りを継続・分析し、生息に必要な環境条件を解明する。それをもとに、ため池利用者・住民・行政・専門家らの検討会を組織し、保全活動計画を策定する。